

日南大建株式会社 新工場「起動式」開催 ～LVL用単板の防腐処理等を通じて木材総合カスケード利用を推進～

大建工業株式会社(大阪市北区堂島、社長:億田正則)は、昨年3月に4社合弁(大建工業株式会社、日南町森林組合、株式会社オロチ、越井木材工業株式会社)で設立した「日南大建株式会社」において、今年4月に着工し、8月に竣工しました新工場の「起動式」を11月2日に開催いたしましたので、お知らせいたします。尚、今回の「起動式」は、コロナ禍により延期としていた新工場竣工式も兼ねており、関係各社の代表者をはじめ、鳥取県平井知事や日南町中村町長にもご出席いただき、各種一連の神事を執り行いました。今後、試験生産を経て、2021年1月の本生産開始を目指してまいります。



日南大建(株)新工場の製造設備



11月2日に行われた起動式の様子

【背景と目的】

当社は、2025年を見据えた長期ビジョン「GP(グロウプラン)25」において、「限りある資源の有効活用を通じて持続可能な社会の実現に貢献する」を存在意義・志の一つに掲げ、国産木材の活用を積極的に推進するとともに、素材事業の拡大に向けた木材の総合利用による新たな用途展開を図っております。

その取り組みの一つとして当社は、2016年11月に、豊富な森林資源を活かした林業・木材加工業に積極的に取り組む鳥取県日南町、日南町森林組合、地元LVL^{※1}メーカーの株式会社オロチとの間で、『日南町「木材総合カスケード利用^{※2}」に関する事業化』の検討を進める覚書を締結。その第一弾の事業化案件として、日南町森林組合が切り出した木材を用いて株式会社オロチがLVLを製造し、その際に発生する端材(木材チップ)を有効活用した土壌改良材「DWファイバー」を開発し、2017年5月より提案を開始いたしました。

そして昨年3月18日には、第二弾の事業化案件として、日南町森林組合、株式会社オロチ、越井木材工業株式会社との4社合弁で「日南大建株式会社」を設立し、株式会社オロチが製造するLVL(単板積層材)を高付加価値化するための、単板の防腐・防蟻処理の加工設備を備えた工場の新設を決定。2020年内の稼働に向けた準備を進めてまいりました。



日南大建(株)新工場外観

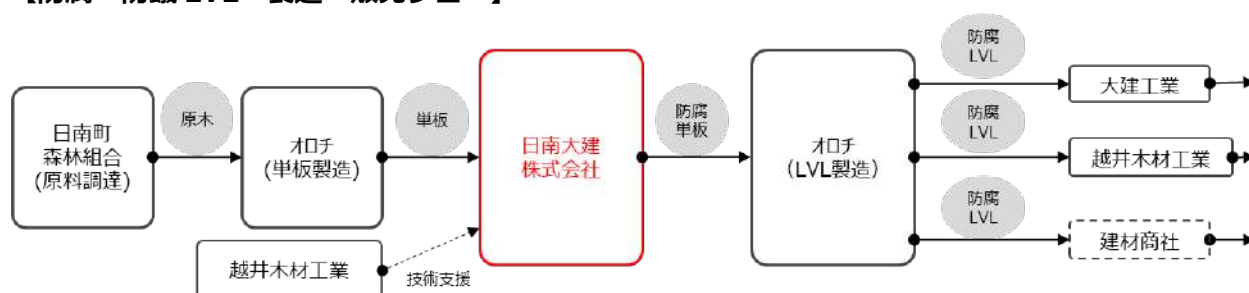
そしてこの度、製造ラインの試運転を終え、生産に向けた準備が整ったことから、11月2日に起動式を開催いたしました。引き続き、2021年1月の本生産の開始を目指し、安定した生産技術の確立を進めてまいります。

日南大建株式会社では、今後も事業活動を通じて木材カスケード利用を推進し、鳥取県日南町の豊富な森林資源の有効活用的一端を担うとともに、森林運営の活性化、さらには地域産業の活性化に貢献してまいります。

※1 LVL(単板積層材)とは:繊維方向を揃えて単板を積層し、接着した木質材料。繊維方向を直交させる合板に対して、長さ方向に優れた強度を発揮し、建築物の柱や梁などの構造材や、内装建材の芯材などに用いられています。

※2 木材総合カスケード利用とは:森林の維持管理、木材の幅広い活用などを通じて、貴重な木材資源を総合的に無駄なく、効率的に、余すことなく利用することをいいます。

【防腐・防蟻 LVL 製造・販売フロー】



【日南大建株式会社の概要】

名称	日南大建株式会社	
所在地	鳥取県日野郡日南町下石見 1829-103	
代表者	代表取締役 福知 義久	
事業内容	株式会社オロチ(日南町)が製造するLVL(単板積層材)を高付加価値化するための加工処理(防腐・防蟻(腐朽・シロアリ被害防止加工)処理)を行う	
資本金	30 百万円	
設立年月日	2019 年 3 月 18 日	
工場規模	敷地面積:約 1,000 m ² 、建屋面積:約 700 m ²	
操業開始	生産ライン稼動:2020 年 11 月 2 日 ※ 本生産開始:2021 年 1 月 予定	
生産能力	年間 6,000 m ³ (2021 年度)	
出資比率	大建工業株式会社 :70% 株式会社オロチ :14% 日南町森林組合 :10% 越井木材工業株式会社 :6%	

【お問い合わせ先】

大建工業株式会社 国内事業企画部 03-6271-7799

以上

※ここに掲載されている情報は発表時のものであり、ご覧になられている日と情報が異なる場合があります。あらかじめご了承ください。